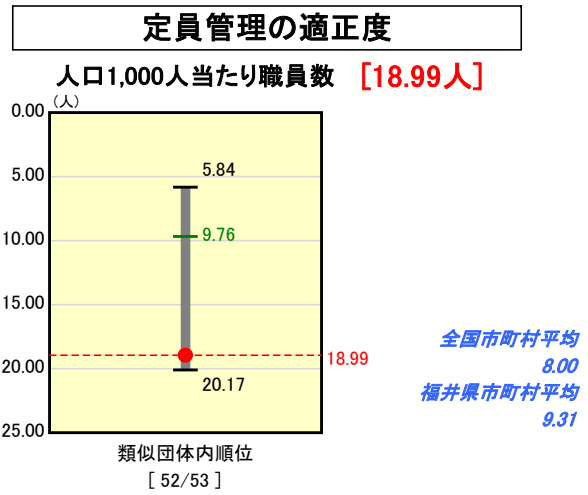
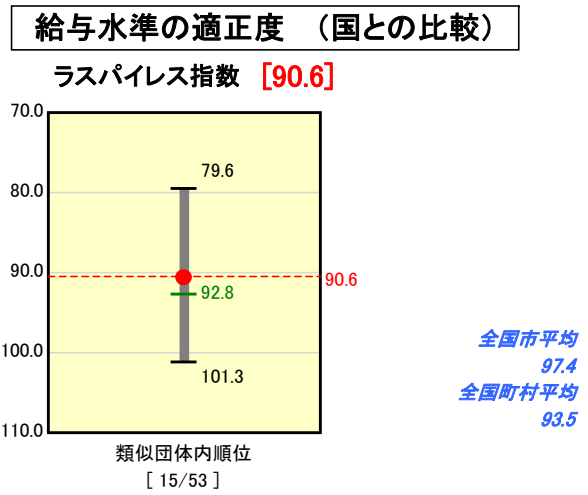
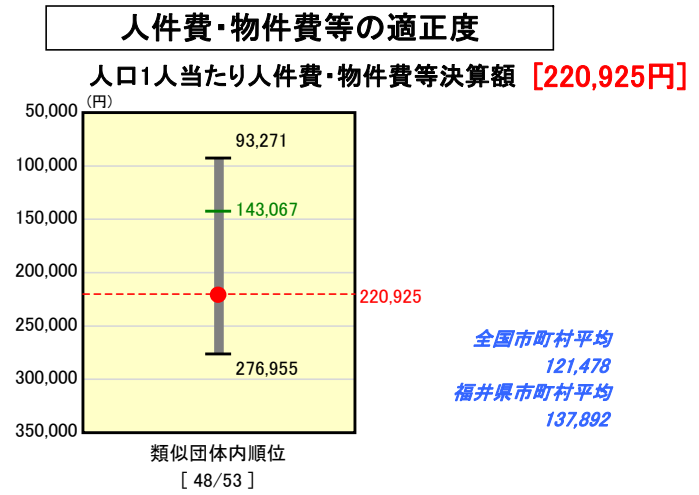
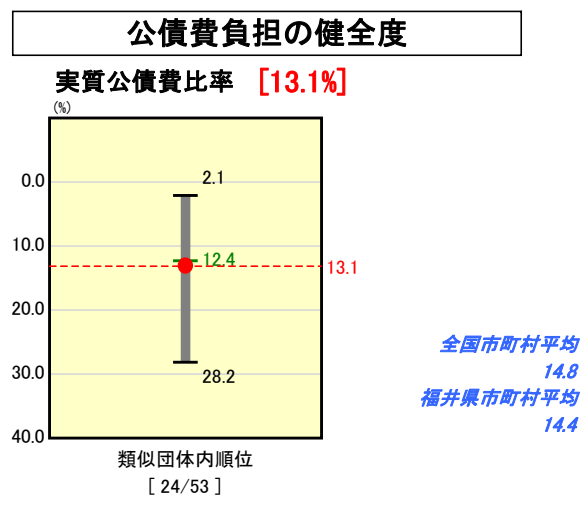
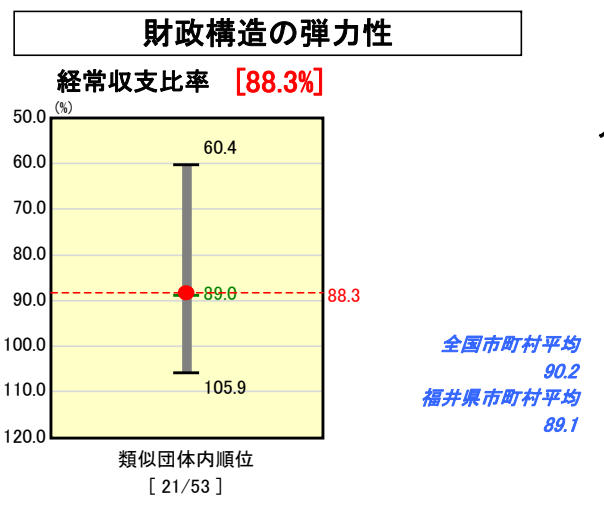
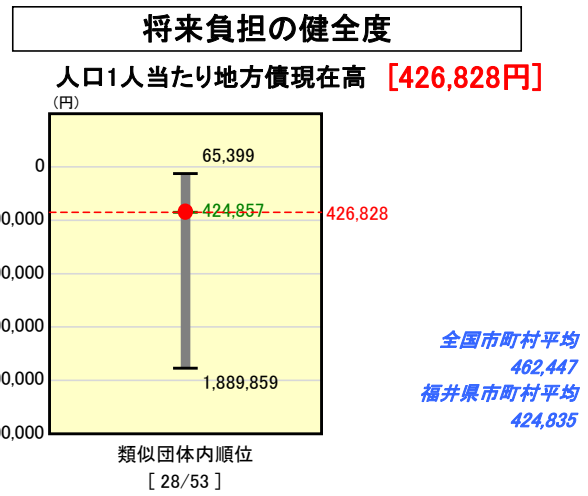
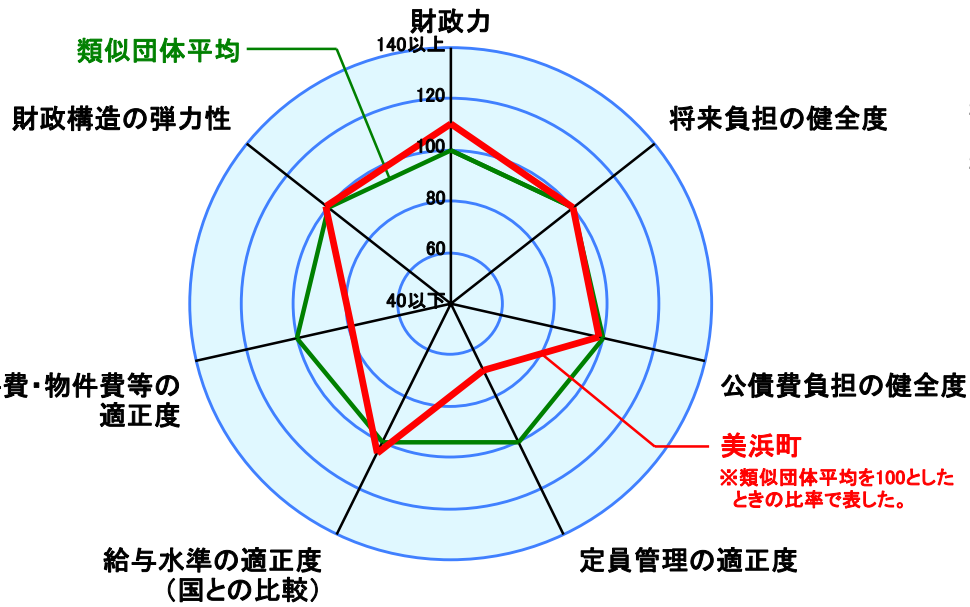
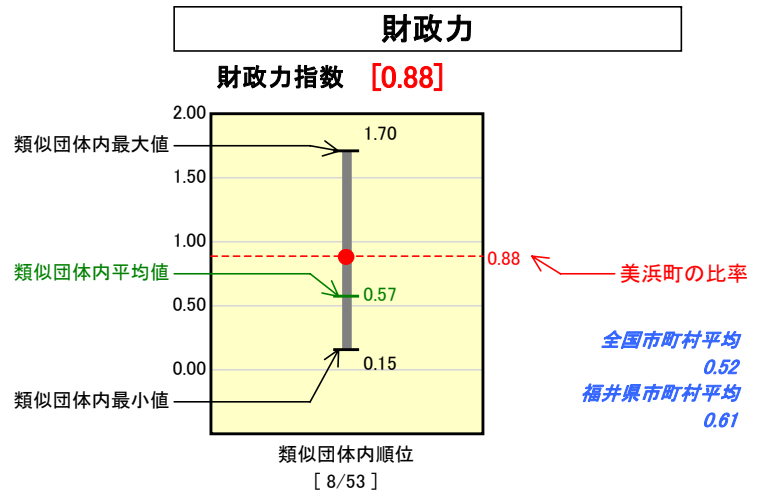


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

福井県 美浜町

人口	11,270	人(H18.3.31現在)
面積	152.32	km ²
歳入総額	6,848,315	千円
歳出総額	6,587,219	千円
実質収支	257,998	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 財政力指数**
 大型企業により法人住民税及び固定資産税の収入が高いため、類似団体平均を上回っているが、大規模償却資産に伴う税については平成10年度をピークに年々減収となっている。今後においては、滞納整理の強化、課税の適正・公平化、新税創設の検討を行い、歳入の確保に努める。
- 経常収支比率**
 定員管理の適正化計画に基づき職員数の削減や事務事業の見直し等、行財政改革を確実に進め、平成27年度までに80%に低下させることを目標としている。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額**
 職員数が多いため人件費も高くなっていることが要因となり、類似団体平均を上回っている。今後は直営で行っている施設の指定管理者制度の導入や保育所、学校の統廃合によりコスト低減を図っていく方針である。
- ラスパイレース指数**
 類似団体平均を下回っており、今後も引き続き適正水準の維持に努める。
- 人口1人当たりの地方債現在高**
 類似団体平均とほぼ同じ現在高であるが、今後予定している保育所、学校の改築等大型プロジェクトの実施においては発行額を抑制し、現状を上回ることのないよう努める。
- 実質公債費比率**
 公共下水道事業の整備により公債費繰出金が大いことから、類似団体平均を若干上回っている。下水道の整備は19年度で完了する予定であるが、償還のピークは平成25年頃になるため、今後予定している大規模事業については、借入額を抑制し適正水準を確保していく。
- 人口1,000人当たり職員数**
 地理的条件により、保育所、学校の設置数が多いことや原子力安全対策、地域改善対策等の特殊な行政需要により類似団体平均を大幅に上回っている。
 今後は、平成18年3月策定の「第3次行財政改革大綱」に基づき、平成27年度までに15%削減を目指し、より積極的に定員の適正化に努めることとしている。具体的方策として、平成19年4月に行政組織の改編と保育所の再編(9⇒4)を行ったほか、小学校の再編(7⇒4)等についても検討を進めるとともに、非常勤職員等の活用や指定管理者制度の導入等により更なる適正化を図る。